



# 市民参画と協働による まちづくり通信

平成24年3月27日発行

問合せ 自治振興課  
TEL : 551 - 0290  
(内線 : 3521)  
FAX : 554 - 1123

## ● 成果報告会で1年の活動成果を発表！

3月11日(日) 本年度のりっとうガンバル基金採択団体の活動報告と、協働事業提案採択事業の実施報告が、市役所で行われました。各採択団体が1年間の活動状況や成果、課題などを発表。協働事業は、実施担当課の職員も取り組み結果を報告し、協働の視点から事業を振り返りました。



### りっとうガンバル基金の報告団体

- サロン・ドゥ・シニア「住民ふれあいサロンの運営」
  - 親支援グループはやま「子育てサロンCOCO愛(ここあ)“親と子の学習と憩いの場”づくり」
  - 山の動く会「山の動く会による演劇活動」
  - マミーズバンド奏「マミーズバンド奏 吹奏楽」
- 【審査委員長総評】活動を継続していくための工夫を忘れずに。市の抱える課題への対応など、活動の幅を広げ、協働事業提案にステップアップしてほしい。

### 協働事業提案の報告団体

- 滋賀ものづくりネット&環境政策課  
「捨てればゴミ、活かせば資源！栗東エコごみ箱」
  - レッツ栗東&生涯学習課  
「里山保全と自然体験学習(竹細工など)」
  - 農業後継者クラブ&農林課  
「いらっしやい！金勝市場へ」
  - 栗東国際交流協会&自治振興課「RIFA 日本語教室」
  - ボランティア・市民活動支援センター&自治振興課  
「ボランティア・市民活動いきいきサポート講座」
- 【審査委員長総評】団体と担当課との調整は難しく、お互いにもどかしい面もある。地域の課題解決に向け、議論を戦わせるくらい意見を出し合い、コミュニケーションを十分にとって事業を進めてほしい。



## ● 市民参画等推進委員会を開催

引き続き3月11日(日)午後からは「栗東市市民参画等推進委員会」が開催されました。

本年度の協働事業提案の審査や取り組み状況などを報告。午前中の成果報告会の内容もまじえ、委員からは次のような意見が出されました。

- ・ 協働事業は進捗管理を怠らず、事業実施後はプロセスも含めてお互いに評価・反省する。
- ・ 報告会では事業費の使途の詳しい説明も必要。
- ・ 行政職員の意識をさらに深め、組織的な取り組みを進めてほしい。

また、4月からのガンバル基金のリニューアルに伴い、募



集の仕方や行政のかかわり方など、より充実した制度となるように意見をいただきました。

## ● 滋賀県の協働推進セミナーに参加

滋賀県主催の「協働推進セミナー」が3月14日(水)に行われました。おうみ未来塾長の北村裕明さんの講演では、「協働は一緒に新しいものをつくり上げること(Co-Production)」 「地域にあった協働の仕組みづくりが必要」などのお話がありました。また、協働事例報告やグループワークで、協働を進めるうえで大切な、人と人の新しいつながりやネットワークづくりについて意見交換をしました。



### ガンバル基金採択団体 活動レポート

### サロン・ドゥ・シニア

役員さんによる平成24年度の事業計画の検討会に出席。本年度の課題や参加者の意見もふまえ、サロン活動の活性化に向けて話し合いました。